【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年8月29日(2024.8.29)

【公開番号】特開2024-93802(P2024-93802A)
【公開日】令和6年7月9日(2024.7.9)
【年通号数】公開公報(特許)2024-127
【出願番号】特願2022-210386(P2022-210386)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３０１Ｃ
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｚ
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和6年8月21日(2024.8.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技盤が配置される内枠と、前記内枠に対してヒンジ手段を介して接続される前枠とを備える遊技機において、
前記前枠に設けられ、第１配線を介して前記内枠の基板に接続される中継基板と、
前記前枠に設けられ、第２配線を介して前記中継基板に接続され遊技者の操作を受け付けるハンドル装置と、
前記前枠に設けられ、第３配線を介して前記中継基板に接続され有価価値数を表示する有価価値数表示手段と、
を備え、
前記第３配線は前記第２配線より本数が多く、
前記有価価値数表示手段は、前記ハンドル装置より前記ヒンジ手段に近い位置に配置され、
前記第３配線の長さが前記第２配線より短くなるように前記中継基板が前記ハンドル装置より前記有価価値数表示手段に近い位置に配置される
遊技機。
【請求項２】
前記中継基板は、
前記第１配線が接続される第１コネクタと、
前記第２配線が接続される第２コネクタと、
前記第３配線が接続される第３コネクタと、
を備え、
前記第３コネクタは、前記中継基板において前記第２コネクタより前記ヒンジ手段側に配置される
請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記中継基板は、
前記第１配線が接続される第１コネクタと、

前記第２配線が接続される第２コネクタと、
前記第３配線が接続される第３コネクタと、
を備え、
前記有価価値数表示手段は、前記中継基板よりも上側に配置され、
前記第３コネクタは、前記中継基板において前記第１コネクタよりも上方に配置される
請求項１に記載の遊技機。
【請求項４】
前記中継基板は、
前記第１配線が接続される第１コネクタと、
前記第２配線が接続される第２コネクタと、
前記第３配線が接続される第３コネクタと、
を備え、
前記第１コネクタは、
長手方向が左右方向に沿うように配置されるとともに、前記第２配線に接続されるハンドル関連端子と、前記第３配線に接続される表示関連端子とを備え、
前記表示関連端子が前記ハンドル関連端子より前記ヒンジ手段側に配置される
請求項１に記載の遊技機。